

避難情報を確認

～家族や地域で見直しましょう～

令和3年5月から災害対策基本法が改正され、町が発令する大雨の警戒レベルによる避難情報が改訂されました。また、洪水と土砂災害ハザードマップが統合され、見やすくなりましたので、自宅付近や最寄りの避難所が安全かどうかを確認しておきましょう。



自然災害が来る前に ～ハザードマップを開いて確認しましょう～



災害から身を守るためには、事前の情報収集や準備をすることが大切です。本号では今年更新されたハザードマップの見方や、災害時持ち出し品などのチェック表を掲載しています。先月お配りしたハザードマップを手元に置いて、家族や地域の方と一緒に「災害への備え」を考えてみましょう。

川根本町では今年、静岡県が公表した最新のデータを基に、災害ハザードマップを更新し、先月皆さんに配布しました。

ハザードマップを確認することで、自分が住んでいる地域にはどんな災害リスクがあるのか知ることができます。リスクを把握したら、自宅の構造や家族構成などを踏まえ、「どのような避難が最善か」を検討してください。避難方法は、避難所に行くことだけではありません。状況に応じて自宅にとどまる「在宅避難」もあります。新型コロナウイルス感染症対策として、3密を避けるために、自宅の安全が確認できれば選択肢の一つに考えておくことも重要です。

大切なことは、「事前の準備」と「早めの避難行動」の二つ。災害が身に迫るほど、避難の選択肢は減っていきます。周囲の状況によっては、ためらわずに近くの避難所に避難することを徹底してください。もしもの時に冷静に避難できるように、日頃から家族や地域の皆さんと一緒に、新しいハザードマップを開き、災害時の備えについて話し合っておきましょう。



川根本町洪水・土砂災害ハザードマップ

更新されたハザードマップは、「1000年に一度の豪雨災害」を想定し、町内の浸水区域や土砂災害警戒区域を見直しました。

町の公式ホームページで確認できますので、常に手元に置いておくようにしましょう。

▶町公式ホームページQRコード
「ハザードマップを更新しました」



ここが
変わった！

警戒レベル4「避難指示」で必ず避難！避難勧告は廃止！

新しく変更された避難情報

警戒レベル	住民が取るべき避難情報など	目安の気象情報
5	緊急安全確保※1	大雨特別警報
～〈警戒レベル4までに必ず避難！〉～		
4	避難指示※2	土砂災害警戒情報
3	高齢者等避難※3	大雨警報 洪水警報
2	ハザードマップなどで避難行動を確認	大雨洪水注意報
1	災害に対する心構えを高める	早期注意情報

変更前の避難情報など

災害発生情報 (災害発生時に発令)
避難指示(緊急) 避難勧告
避難準備 高齢者等避難開始
大雨・洪水注意報など
早期注意情報(気象庁)

警戒レベル5は、安全な避難ができず命が危険な状況です。緊急安全確保の発令を待ってはいけません。

避難勧告は廃止されました。これからは警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間がかかる高齢者や障がいのある方は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

- ※1 町が災害の状況を確実に把握できるものではないので、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
- ※2 避難指示は、従来の「避難勧告」のタイミングで発令されます。
- ※3 警戒レベル3は高齢者以外の方も危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

ここが
変わった！

ハザードマップに土砂災害警戒区域が追加

自宅周辺の土砂災害警戒区域を確認しましょう。土砂災害警戒区域とは、山腹崩壊、地すべり、崩壊土砂の流出で学校や病院などの公共施設や人家に直接被害を与える区域です。新しいハザードマップと併せて右記QRコードにアクセスして、町ホームページを確認してください。

▶町公式ホームページQRコード
「山地災害危険地区」のお知らせ



町ホームページで自宅付近の土砂災害警戒区域を確認

ハザードマップで自宅付近の土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域を確認

土砂災害の前兆現象を確認

- ▶ 山鳴り・地鳴りがする
- ▶ 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- ▶ がけや斜面から水が噴き出している
- ▶ 沢や井戸の水がにごる
- ▶ 地面に段差や亀裂ができる